

(事業報告書様式1)

年度利用料金収入実績 ※有料施設がある場合のみ該当

分区園利用実績

月別	区画	金額	合計
4月	70	¥4,000	¥280,000
5月～3月	変更なし		
合 計			¥280,000

(事業報告書様式2)

年度公園施設及び有料施設利用回数・稼働率(月別) ※利用人数を計測している公園施設及び有料施設がある場合のみ該当

分区園稼働状況

月別	分区園区画数	利用区画数	稼働率(%)	その他
4月	70	70	100	
5月	70	70	100	
6月	70	70	100	
7月	70	70	100	
8月	70	70	100	
9月	70	70	100	
10月	70	70	100	
11月	70	70	100	
12月	70	70	100	
1月	70	70	100	
2月	70	70	100	
3月	70	70	100	

(事業報告書様式3)

年度公園利用状況（園地や無料施設で利用者数を計測している場合及び有料施設がある場合は利用者数を記載。施設数に応じて表を増減してください）

月別	公園全体の利用 人数	備考
4 月	該当なし	
5 月		
6 月		
7 月		
8 月		
9 月		
10 月		
11 月		
12 月		
1 月		
2 月		
3 月		
年間合計		

公園施設名：

月別	計測方法	利用件数		
		市内	市外	合計
4 月	該当なし			
5 月				
6 月				
7 月				
8 月				
9 月				
10 月				
11 月				
12 月				
1 月				
2 月				
3 月				
年間合計				

※施設が複数ある場合は、表を追加して各施設別に作成してください。

(事業報告書様式4)

業務の第三者委託実績

業務	内容	再委託会社 及び金額	年回数	実施月日	評価	対応状況
該当なし						

(事業報告書様式5)

年度修繕実績

修繕年月日	修繕箇所	金額	委託業者名または 直営かの記載	対応状況
H30 年 11 月 13 日	多目的広場 階段手すり	¥60,500	直営	台風の強風による倒木の 直撃で手すりが曲がり、 交換した
H31 年 3 月 26 日	芝生広場と第 二公園の間 2 段パイプ柵	¥33,000	直営	柵が切断されていたとの 報告を受け、修繕を行っ た
H31 年 3 月 27 日	中央広場 野外卓ベンチ	¥33,000	直営	いたずらによりベンチの 角が削られているとの報 告を受け、修繕を行った

(事業報告書様式6)

年度増減備品一覽

[illegible]

苦情対応報告

	年月日	内容及び苦情者	対応結果
1	H31年2月23日	芝生広場の境界フェンスの住宅側に入り込んでいる児童がいる	 立ち入り禁止看板の設置。派出所に相談し、近隣小学校に報告していただいた (2/23 対応済)
2	H31年2月27日	坂になった園路をスケートボードや自転車で走る子供がいて危ない	 注意喚起の看板の設置 (2/27 対応済)

事故対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	H30年6月5日	公園内に紙（破かれた聖書）が散乱していると、警察より連絡があった	周囲を巡回し、他に被害がないことを確認し、警察に相談した結果、特に事件性はないとの事であった
2	H30年6月13日	山の斜面にいる迷い犬を保護した	警察に引き渡した
3	H30年8月14日	低学年の男女児童が山の上で不審者に追いかけられた	警察に通報し、状況説明を行い、パトロールの強化をお願いした
4	H30年10月1日	 修繕前 台風の強風による倒木があり、階段の手すりに変形した	 修繕後 (11/13) 後日、手すりを交換した
5	H30年10月12日	高学年の男児が複合遊具にて頭部を負傷し救急搬送された	関係者（保護者や消防）からの連絡はなし

農園付き分区園の機能を活かし、地域を活性化させる公園の管理方針を以下に示した。

“農”＋コミュニティ

地域・近隣学校との連携・安心安全

“農”＋健康

健康づくり・生きがい創出

“農”＋未来

教育の場・環境に配慮・伝統の継承

今井の丘公園

運営理念

まちの力を促進させる自然あふれるコアスペース



“農”＋コミュニティ ～人と人との笑顔を繋ぐ癒しの空間～

地域交流の拠点となるような公園づくり

- ・地域住民・利用者と一緒に創り上げるイベントの開催

H30 年度は、七夕のササ飾りを行い、2つの保育園の子供たちと公園を利用する家族の皆さんが書いた願い事を飾り付けた。自治会の役員の方々と意見交換を行い、公園花壇の花植えや桜まつりに参加した

- ・教育機関に公園活用を提案し、学生や児童の活動の推進

H30 年度は、近隣保育園と協働し、協働農園でのサツマイモづくりを行った。また、自治会の協働農園では、サトイモづくりを行った



自治会の協働農園



保育園の協働農園



“農”＋健康 ～高齢化社会に対応した生きがいづくりの空間～

“農”を身近に感じられる公園づくり

- ・農園利用者の経験に合わせた適切な農業技術の指導

H30 年度は、分区園の pH を測り、春の講習会を行ったほか、堆肥の無料配布や畑の石・残渣の回収などを行った。日頃からコミュニケーションをとることで、スタッフとの信頼関係もでき、栽培相談をされる方も多くなってきた



栽培講習会



堆肥の無料配布



畑の小石・残渣の回収

・協働農園を農業体験、食育等の場として活用

H30 年度は、保育園や自治会と協働するほか、自社でも花壇や野菜畑として活用し、季節の花や緑にあふれる協働農園を利用者の方に楽しんでいただいた。新規の取り組みとして青空ヨガ教室を開催し、参加者の方に好評をいただいた



芋の植え付け



協働農園の花壇



new 青空ヨガ教室

・農園利用者に、掲示板・倉庫等を使った情報発信

H30 年度は、掲示板に緊急連絡先や避難先等の情報を掲示するほか、月別の農作業のポイントがわかるポスターや花の名前あてクイズ、公園の花の写真などを掲示した



花の名前あてクイズ



掲示板の様子



“農” + 未来 ～地域の未来の担い手たちを育成する空間～

農ある原風景や文化を保全・継承し、未来の緑を育む公園づくり

・歳時記を感じるイベントを開催

H30 年度は、5月にこどもの日のこいのぼり、7月に七夕のササ飾り、8月にはカカシの設置、12月にお正月の門松づくり、1月にお正月飾りの設置を行った



こいのぼり



カカシの設置



門松づくり

・梅林や桜等景観へ配慮した適切な維持管理の実施

H30 年度は、梅林の病虫害防除を行った。園内の見通しが悪い為、管理水準にない通路部分両側の刈り込みを行った。また、当公園にはツツジ、サツキ等の花木が多いため刈り込み時期に配慮し、適切な維持管理を行った



刈込み作業



草刈り作業

(事業報告書様式9)

収支報告書（指定管理料のみ）

単位：円

科目	当 初 予 算 額 (A)	補 正 額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	5,228,000		5,228,000	5,228,000	0	
利用料金収入	280,000		280,000	280,000	0	
自主事業収入	400,000		400,000	36,600	363,400	
雑入						
その他雑入						
収入合計	5,908,000		5,908,000	5,544,600	363,400	

科目	当 初 予 算 額 (A)	補 正 額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明 ※：計画書での記 載項目
支出の部						
人件費	2,150,000		2,150,000	2,624,000	-474,000	
給与・賃金	2,125,000		2,125,000	2,600,000	-475,000	※職員給与＋現地 職員（アルバイト）
社会保険料						
通勤手当						
健康診断費						
勤労者福祉共済掛 金	25,000		25,000	24,000	1,000	※労災保険・雇用 保険等
退職給付引当金繰 入額						
事務費	510,000		510,000	334,217	175,783	
旅費	80,000		80,000	74,897	5,103	
消耗品費	50,000		50,000	45,000	5,000	
会議賄い費	100,000		100,000	80,000	20,000	※設備費（一部）
印刷製本費						
使用料及び賃借料	100,000		100,000	5,070	94,930	
（横浜市への支 払い分）						
（その他）	100,000		100,000	5,070	94,930	※設備費（一部）
備品購入費	50,000		50,000	32,500	17,500	
図書購入費						
施設責任賠償保険	100,000		100,000	56,750	43,250	
職員等研修費	30,000		30,000	40,000	-10,000	※本部経費（一 部）
振込手数料						
リース料						
手数料						
地域協力費						
自主事業費	400,000		400,000	71,765	328,235	
管理費総合計	3,060,000		3,060,000	3,029,982	30,018	

光熱水費合計						
光熱水費（電気）						
光熱水費（ガス）						
光熱水費（水道）						
光熱水費（下水道）						
清掃費	250,000		250,000	251,559	-1,559	
修繕費	240,000		240,000	159,841	80,159	
機械警備費						
施設保全費	1,280,000		1,280,000	1,360,000	-80,000	
空調衛生設備保守						
消防設備保守						
電気設備保守						
害虫駆除清掃保守						
その他保全費・園地管理費	1,280,000		1,280,000	1,360,000	-80,000	※植物管理費＋設備業務＋廃棄処分費
共益費（合築等の場合）						
公租公課	438,000		438,000	387,000	51,000	
公租公課（事業所税）						
公租公課（消費税）	438,000		438,000	387,000	51,000	
公租公課（印紙税）						
その他公租公課						
事務経費	350,000		350,000	307,000	43,000	
事務経費（本部分）	230,000		230,000	187,000	43,000	※本部経費（一部）＋通信運搬費＋宣伝広告費
事務経費（当該施設分）	120,000		120,000	120,000	0	※本部経費（一部）
その他経費（当該公園分）	290,000		290,000	249,657	40,343	※設備費（一部）＋燃料費
支出合計	5,908,000		5,908,000	5745,039	162,961	
差引	0		0	-200,439	200,439	

（参考）指定管理料外の経費

設置管理許可収入合計			240,000	239,360		
設置管理許可支出合計			50,000	48,235		
差引			190,000	191,125		

(事業報告書様式 10)

運営目標・実績報告

目標設定 の視点	当初設定した 運営目標	当初設定した 管理指数・数値	実績	今後の取組(改 善計画)
業務運営 1 (達成目 標、運營業 務の実施方 針)	地域の方々が 潤いや元気が 得られ笑顔に なれる公園、 地域から必要 と認めて頂け る公園を目指 し、公園運営 に取り組む	地域住民・利用 者と一緒に作り 上げるイベント の開催、教育機 関に公園活用を 提案し、活動を 推進する、歳時 記を感じるイベ ントの開催	歳時記のイベントとして子 供の日のこいのぼり(5 月)、七夕のササ飾り(7 月)、カカシの設置(8 月)、門松づくり(12月)、 お正月飾りの設置を行っ た。保育園と協働での年間 を通したサツマイモ栽培を 行った	今後も挨拶を 励行し、利用 者との信頼関 係を深める
業務運営 2 (利用者 サービスの 向上、利用 者満足度や 利用者数の 増、利用し 易さ向上)	利用者が公園 施設を公正・ 公平・安全・ 安心・快適に 過ごすことが できるように 公園運営に取 り組む	農園利用者の経 験に合わせた適 切な農業技術指 導の実施 掲示板を利用し た情報発信	分区園利用者への講習会の 開催、堆肥の無料配布、畑 から出る小石や残渣の回収 を行った。掲示板にはイベ ント情報等のほか、季節に 合わせた農作業の情報を掲 示した	一部の利用者 のみに恩恵が 偏らないよう 十分に留意 し、公平・平 等を順守する
業務運営 3 (人員配 置、緊急時 対応計画、 防犯防災、 災害対応)	必要かつ適正 な人員配置 緊急時対応計 画の確立 防犯防災の地 域連携 警報発令時の 管理体制	本社 2 名、現地 2 名による管理 を行い、連絡体 制を確立する。 巡視点検マップ の作成、ハザー ドマップ及び安 全対策マニユ アルの作成・更新	現地職員の日報や巡視点検 マップを本社職員が日々確 認し、公園専用電話ですぐ に連絡が取れる体制を整え た 巡視点検マップを日々記録 し、今後の安全対策のため のデータとして活用してい く	今年度起きた 事件・事故を もとに安全対 策を行い、ス タッフ全員に 周知する等、 さらに緊急対 応を進めてい く
人材育成 研修実施効 果等	園地管理能力 の向上、分区 園栽培指導向 上、人権・個 人情報保護等 の知識向上	月 1 回の公園全 体ミーティング により、職員の 情報交換や支 援、指導を行う	月 1 回以上のミーティング を行った	人権・個人情報 保護等の勉 強会に積極的 に参加する

維持管理1 (施設の保守管理、補修計画)	安全・安心を中心とした維持管理の実施 快適で心地よい空間作り 施設の長寿命化	巡視点検マップを活用した巡回点検（104回／年）の実施 季節の花々による彩りの演出	計画以上の巡回点検（259回／年）を実施した。巡視の結果は、日報にし、写真も記録した。問題があったときは職員が速やかに現地へいき、対処した 協働農園に季節の花や野菜を植え付けた	今後も巡視点検マップを活用した巡回点検を行い、快適で心地よい空間づくりを行う
維持管理2 (清掃、園地維持管理、災害対応)	園地の特徴に応じた日常巡視・点検・清掃等の実施 警報発令時の管理体制と事後管理の徹底	園内清掃（24回／年）の実施、園内をエリアごとに点検・記録し、清掃等の管理を行う。公園専用電話で横浜市防災情報eメールに登録する	計画以上の園内清掃（259回／年）を実施した 大雨警報発令後は、チェックリストを使い点検を行い、事後管理を徹底した	今後も巡視点検マップを活用し、園地の特徴に応じた日常巡視・点検・清掃等を行う
収支 修繕等、収入、支出)	分区園収入の向上 修繕箇所の早期発見による経費低減	週2回行う巡視点検により修繕箇所を早期発見・予防する予防保全型の管理を行う	計画以上の巡回点検（259回／年）により、修繕箇所の早期発見に努めた。また、利用者への日頃の声掛けにより情報を集めるなどした	今後も早期発見・予防する予防保全型の管理を行う
経費節減策	予算の効率的執行意識を職員に徹底する	他管理公園との備品等の相互使用、本社で物品等を一括購入、資機材の点検・整備をこまめに行い、長寿命化及び燃料費の削減を図る、植物管理を直営で行い、委託費を軽減する	植物管理や修繕、遊具点検や、一部のイベントの講師なども直営で行うことにより、経費を節減した	今後も早め早めの対応を心がける

(事業報告書様式 11)

自主事業実施報告

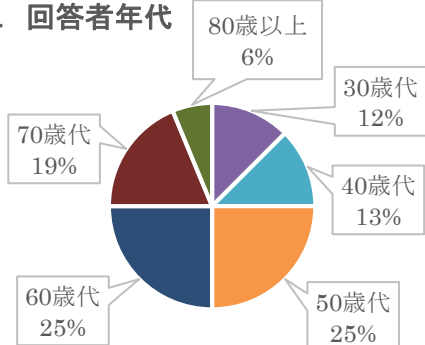
	事業名	目的・内容	実施時期・回数・収支状況・実施結果考察
1	栽培講習会	講師による分区園利用者向けの栽培講習会を行った	4 月に開催。5 名が参加した。参加者から好評をいただいた。 (写真) 講習会の様子
2	有機たい肥の無料配布	分区園利用者向けに無料で有機たい肥を配布した	4 月、9 月に開催。分区園利用者にとっても好評だった (写真) 配布の様子
3	子供の日	季節のイベント①協働農園にこいのぼりを設置し、季節を演出した	4 月末に設置。公園利用者から、青空にこいのぼりが映えていいねと好評をいただいた (写真) 設置した様子→
4	ヨガ教室	健康増進のため、芝生広場でヨガ教室を行った	5 月に開催。5 名が参加。青空の下でのヨガはとても気持ちがいいと好評をいただいた (写真) イベントの様子→
5	七夕	季節のイベント②ササを設置し、ササ飾りや願い事を飾れるようにした	7 月初旬に設置。保育園の子供たちや来園者の家族の皆さんが願いことを書いて楽しんでいた (写真) 設置した様子→
6	門松づくり	季節のイベント③間伐材の竹や公園内の植物を使った門松づくりを行った	1 2 月下旬に開催。8 名が参加した。大きさがちょうどよい、また参加したいと好評をいただいた (写真) 講習会の様子→
7	お正月	お正月飾りを作成し、管理棟の窓と中央広場のパーゴラに飾り付けた	1 月初旬に設置。来園者に季節感を感じていただいた (写真) 設置した様子→
8	協働農園	近隣の保育園（2 園）と協働でサツマイモの栽培を行った	土づくり～イモの植付け～イモの収穫を行い、子供たちもとても喜んでいた (写真) 芋ほりの様子→

(事業報告書様式 12)

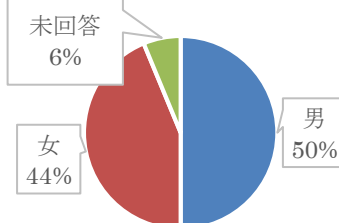
利用者アンケート結果

(11・12月 アンケート用紙を来園者 16 人に配布し、回収した結果)

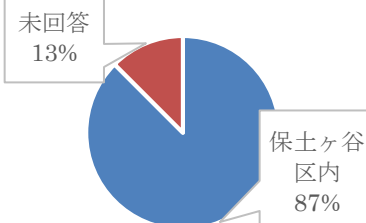
1. 回答者年代



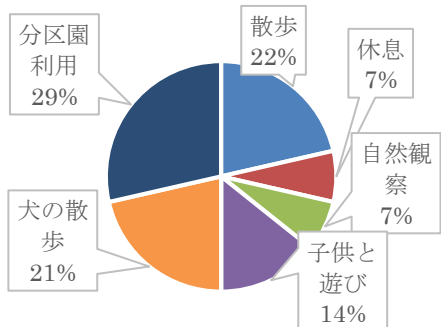
1-1. 性別



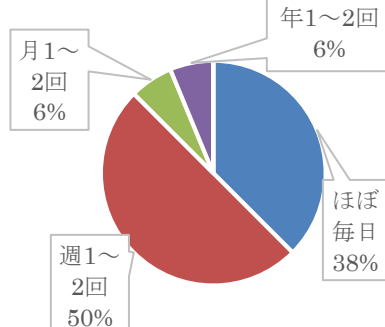
1-2. 回答者の住所



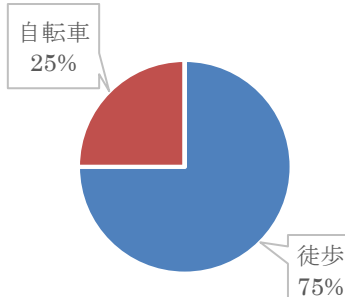
2. 公園利用目的



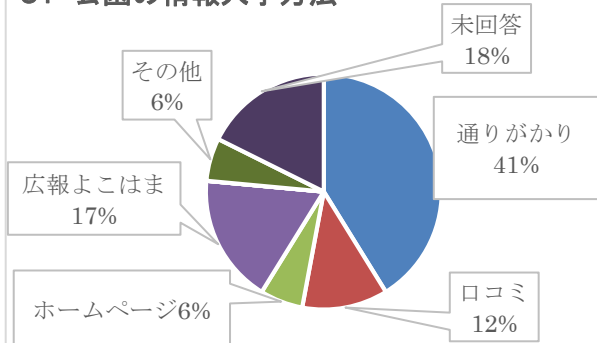
3. 公園の利用頻度



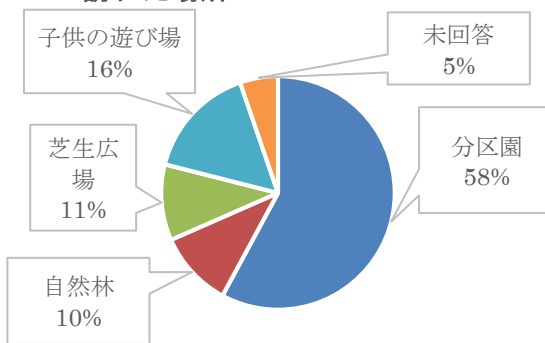
4. 来園手段



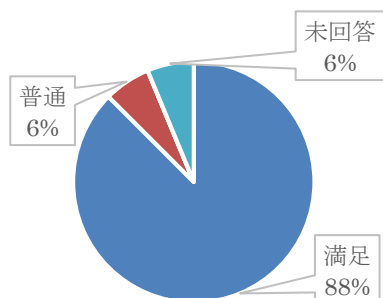
5. 公園の情報入手方法



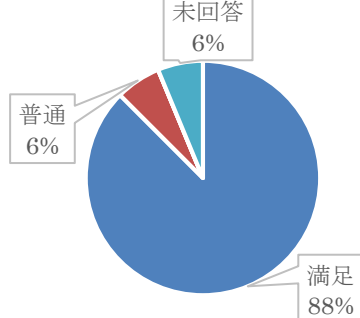
6. 訪れた場所

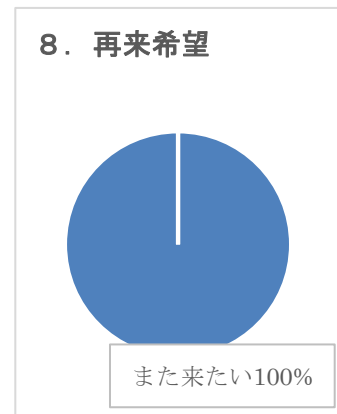
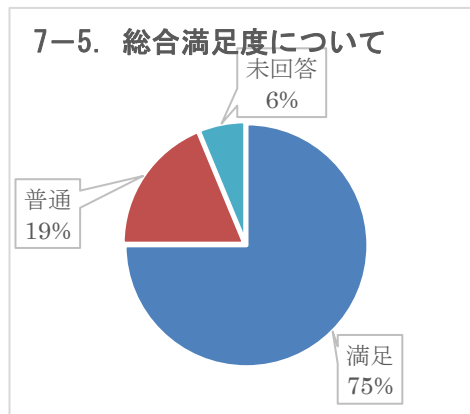
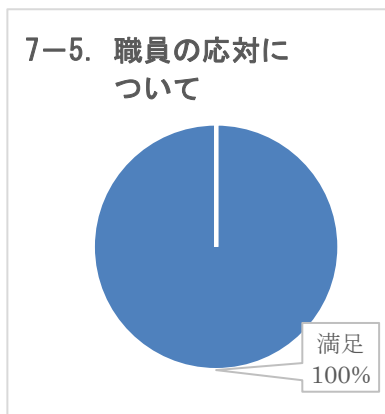
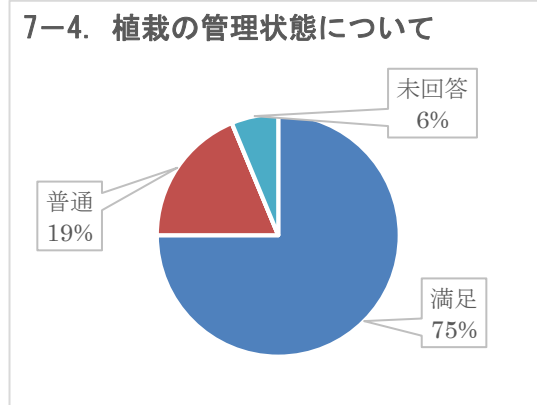
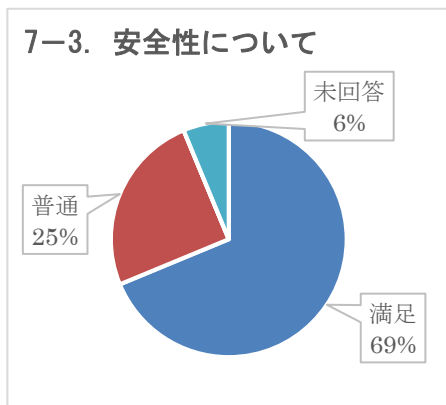


7-1. 施設の清潔さについて



7-2. 施設の利便性について





9. 自由意見

○とても気持ち良く過ごせる場所だと思います。

○子供の分区園での遊び方が、ポイ捨てや自転車走行、勢いよく走り回る鬼ごっこなど、注意が必要だと思う時がある。

○分区園が出来たお陰で以前に増して元気になりました。

(事業報告書様式 13)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	2018/4/4	個人情報保護研修	横浜市市民局の個人情報保護法についての啓発チラシ及び、市民生活における個人情報保護 Q&A パンフレット等の資料をもとに本社職員 4 名で勉強会を行った